

鹿県身障



新年の御挨拶



社会福祉法人

鹿児島県身体障害者福祉協会

会長 藤田 満

新たな年の初めに当たり、謹んで皆様に御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の

5類移行後初めての年明けを迎え、安堵しているところに能登半島地震の報。翌2日には航空機事故の報に接し、言葉を失いました。かけがえのない命を落とされた方から哀悼の意を表し、被災された方に一日でも早く平穏な日常が戻るよう衷心からお祈り申し上げます。

改めまして、皆様には、日頃から当協会の運営や事業の実施につき、深い御理解と御支援を賜っていることに、厚く御礼を申し上げます。

鹿児島においても種々の災害

が懸念される中、様々な行政施策も踏まえ、日常から一人一人の障害特性に配慮した対応に一層努めてまいります。

県においては、令和6年度から10年度までの5年間を計画期間とする鹿児島県地域福祉支援計画が今年度中に策定されます。

高年齢者、障害者等に関する個別の施策に共通して取り組むべき事項や、単独の市町村では対応できない広域的な課題への対応等について、地域の視点から横断的に施策の方向性が示されるものと理解しており、地域共生社会の実現等に向け、市町村の動きを含めた今後の展開に期待しているところです。

また、ときを同じくして、第

発行所

社会福祉法人

鹿児島県

身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1

ハートピアかごしま3階

電話 099-228-6271

発行人 藤田 満

かんぎ 第163号

7期鹿児島県障害福祉計画と第3期鹿児島県障害児福祉計画が一体的に策定され、向こう3か年の障害福祉サービスに関する数値目標等が示されます。当協会は、同サービスの提供や必要量の確保に直接携わるものではない、微力ながら一層の障害者支援に取り組んでいく所存です。

昨年10月の特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」では、多くの声援の下、躍動する選手の姿が、我々に文字どおり「燃ゆる感動」を与えてくれました。この感動を一過性のものとせず、大会で深まった障害への理解や関心、選手の育成を含めた大会効果を生かし、これからの障害者スポーツの振興、ひいては障害者の社会参加へとつなぐことが、大会を終えた今、最も肝要であると考えます。

当協会としても、視野を広く

持ちながら、引き続き障害者の自立と社会参加の推進に尽力してまいります。皆様の変わらぬ祈念し、新年の御挨拶といたし御理解と御助力とをお願い申し上げます。

第52回九州身体障害者福祉大会

第30回九州ブロック身体障害者相談員研修会

|| 大分で開催 ||

令和5年11月30日(木)～12月1日(金)九州各県・政令指定都市から延べ778名、本県からは藤田会長をはじめ27名が参加しました。



正しい知識を身に付け、情報をきちんと選択する力を養っていかねばならない。心のバリアをなくすために、積極的にお互いを理解する姿勢が重要と話されました。助言者から情報化社会の中で、SNSを使ってインターネット上に拡散される内容を見極める必要があるのではとの意見が出されました。

第2研究部会では、「障害者相談員資質の向上と活動活性化について」をテーマに事例発表があり、ピアサポーター研修を取り入れて、福祉制度や新しく策定された制度等を中心に知識を深めていると話されました。また、関係機関の方々との協力し、いざという時、これらの人達に繋ぐことのできる関係を作ること

も大切であるとの発表がありました。私たちは、

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させていただきます。

〔2日目〕福祉大会が開催され、について」と題し、大分大学准第一部の式典では特別表彰と組織活動功労表彰が行われました。本県からは宮永宣夫氏が特別表彰を、中浜政則氏が組織活動功労表彰を受賞されました。誠にありがとうございました。

第三部の議事では、大会宣言及び大会決議がそれぞれ満場一致で採択され閉幕しました。次回は、令和7年1月27日(土)に宮崎県で開催されます。

第二部では、「障害者差別解消法の理解と障害者相談員の資質」ご参加よろしくお願ひします。

令和5年度 鹿児島県障害者保健福祉大会

11月9日、県民交流センターにおいて、障害者とその家族等336名の参加のもと開催されました。

社会福祉功労者に対する知事表彰及び団体長表彰に続き、鹿児島市の赤島孝さんによる体験発表。自身のギャンブル依存症について話し、回復には周りの人たちの協力が必要であり、現在は同じように苦しんでいる方たちに対しての活動をしていると、力強く話されました。

次に、「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞を受賞された作文の発表が行われました。鹿児島市立田上小学校3年の南日陽さんは、みんな得意・不得意があり、お互いが補い合い、協力し合うことで幸せになれるのでは、と発表されました。出水市立鶴荘学園9年の上垣陽人さんは、自分の吃音について様々な体験を通して工夫することで自信がついたことや差別のない社会に

雰囲気や和みました。最後に、大会宣言が満場の拍手で承認され、大会は幕を閉じました。

来年度は、11月14日(木)に開催予定です。

【鹿児島県知事表彰者】

- ・障害者自立更生部門
鹿児島市 藤崎 強
- ・障害者更生援護部門
鹿児島市 前田 究
- 始良市 辻 克彦
- 知名町 巨富 徳彦

【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

- ・自立更生の部
鹿児島市 三雲 明美
- 肝付町 外園 健次
- ・更生援護の部
鹿児島市 菅原 貞子
- 鹿児島市 茶屋道 輝代
- 鹿児島市 清田 ひとみ
- 霧島市 日高 喜一
- 南九州市 前園 義秋
- 湧水町 永野 敏明
- 湧水町 山文 隆

第16回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

グラウンド・ゴルフ大会は、9月29日に宮崎県総合運動公園(木の花ドーム)で開催されました。4月に開催された県大会で入

賞した3チームが、鹿児島県代の方が参加されました。実際に表として出場しました。成績は、8位に知名町、12位に串良町、25位に南九州市(27チーム中)。来年度は、熊本県で開催予定です。気軽に体を動かして楽しかった」と好評でした。

第37回九州身体障害者ゲートボール大会

ゲートボール大会は、10月6日に福岡市雁の巣レクリエーションセンター(多目的グラウンド)で開催されました。

5月に開催された県大会を勝ち抜いた3チームが、鹿児島県代表として出場しました。成績は、ザ・想定外チームが優勝、与論チームが3位、西之表チームが6位(15チーム中)。

ゲートボール大会は、競技人口の減少などでチーム編成が困難な県もあり、今年度を最後に休止することになりました。最後に有終の美を飾ることができました。

eスポーツ体験

12月3日、ハートピアかごしまで開催された「あったか交流フェスタ」に合わせて、eスポーツ体験を行いました。

eスポーツとは、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名前で、この日は「太鼓の達人」と「ボウリング」を開催。約60名

鹿児島県身体障害者相談員研修会

1月26日に、身体障害者相談員研修会を開催しました。コロナ禍により、4年ぶりの開催となりました。当日は、相談員及び関係者76名の参加がありました。

はじめに、「災害時における要配慮者への支援について」と題して、県危機管理防災局災害対策課の丸山浩二係長の講演がありました。元日に起こった能登半島地震もあり、活発な質疑応答がなされました。

次に、県警察本部生活安全部生活安全企画課の池貴博課長補佐による「障害者や高齢者が詐欺被害にあわないために」という講演があり、啓発動画で事例を挙げ、対策についても話されました。

その後、第30回九州ブロック身体障害者相談員研修会大分大会の報告の後、閉会しました。令和6年度の研修会は5月24日(金)に奄美市の大島支庁にて開催予定です。

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 コロナ延期乗り越え開催実現！

令和5年10月28日〜30日、全国から67選手団、約6千人の選手・役員を迎え、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が開催されました。



開会式 鹿児島県選手団の入場行進 【写真提供 JPSA/X-1】

令和2年に20回大会として実施されるはずだった同大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により延期を決断。後催県や関係団体の理解と協力を得て回数をつけたい特別大会として今年実施されることになりました。

秋篠宮殿下・同妃殿下がご臨席された開会式は、秋晴れの鹿児島市、白波スタジアムでありました。声出しが解禁されたスタンドの大歓声の中、沖縄県を皮切りに選手団が入場。地元鹿児島選手団は卓球に出場する旗手の田中正信選手に先導され、次年度開催の佐賀県に続いて最後に登場しました。

秋篠宮殿下から「この大会が、わが国の障害者スポーツの普及と振興に寄与するとともに、障害のある人々に対する理解がさらに広がることを期待します」というお言葉をいただき、炬火リレーがスタート。直前に開催された特別団体から引き継がれた炬火をシドニーパラリンピックで活躍した岡留晴文氏をはじめ今大会出場の本県選手5名が

繋ぎます。炬火台への点火が成功すると、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。陸上競技に参加する久木留清選手と山口乃愛選手による力強い選手宣誓で開会式は終了。県内7市において、個人・団体合わせて14競技の熱戦の火ぶたが切られました。

3日間の大会期間は温暖な晴天に恵まれ、懸念されていた桜島からの降灰もなく、約3千3百人の選手は各地で躍動しました。選手・役員合わせて477人という大選手団となった地元鹿児島県は、個人競技で全選手団最高となる190個（金74、銀70、銅46）のメダルを獲得。陸上競技や水泳では計10の大会新記録をマーク



開会式 選手宣誓【写真提供 JPSA/X-1】

し、好成績に花を添えました。団体競技でも、知的障害者バレーボール女子の金メダルなど、メダル6個（金1、銀2、銅3）の大健闘。延期で待った3年間に努力した選手やチームが大きく羽ばたきました。

閉会式は大会3日目となった30日午後、高円宮妃久子さまご臨席のもと白波スタジアムで挙行。大会会長（塩田康一鹿児島県知事）や室伏広治スポーツ庁長官のあいさつに続き、高円宮妃久子さまが選手や関係者を労うとともに、今後の飛躍を祈念するお言葉を賜りました。

降納された大会旗は来年の開催地、佐賀県の山口祥義知事に引き継がれ、選手を見守った炬火は静かに納火。熱戦の思い出と感動を残し、スポーツによる共生社会の契機となった大会は幕を閉じました。

本県選手団の結果詳細は、当協会ホームページからご確認ください。



鹿児島県身体障害者福祉協会ホームページ
<https://shogaisha-kagoshima.jp>

令和5年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

次の皆様方に、令和5年度の賛助会員として加入いただきました。ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。

(順不同 敬称略)

令和6年2月1日現在

Table with 2 columns: 団体名 (Organization Name) and 団体名 (Organization Name). Lists various member organizations such as 有限会社平成メディカル, 株式会社北義肢製作所, etc.

計33法人・団体

ユニバーサル シネマ会開催

1月30日、地域における公的な取組として、鹿児島市内の特別支援学校に通う小・中学生とその家族を対象に鹿児島ミツテ10においてユニバーサルシネマ会を開催しました。

各学校を訪問して周知をしたところ、想定を上回る100名超の応募。当初予定していた会場より大人数収容のシアターに変更しての実施となりました。

映画はアニメ「劇場版スパイファミリー コードホワイト」。字幕付きで、シアター内は映画上映中も消灯することなく、音量も控えめに上映しました。スタッフが出入り自由で、声をあげても構わないという注意事項を告げて映画はスタート。上映後のアンケートでは、おとなしく鑑賞できないため普段は映画館に行くことをためらっていた親子から、「このイベントのおかげで初めて本物の映画を体験できました」といった感想が寄せられました。

平日の夕方ということもあり慌ただしい日程でしたが、楽しみに来られた児童生徒やその家族の皆さんの笑顔を見ることができイベントは成功裏に終了。課題もありましたが、次回以降に活かしていきたいと思えます。

パソコンやスマホでお困りごとはないですか？ プロがマンツーマンで指導します

実施日：第1・3木曜日（要予約）
時間：一人概ね1時間
場所：ハートピアかごしま 3階
相談内容：パソコン（ワード、エクセル、メール）の操作、インターネットの接続や利用方法 スマートフォン・iPhone・タブレットの使い方やトラブルなど
相談できる人：鹿児島県内の障害者手帳等をお持ちの方
相談料：無料

視覚障害者のご相談には、協会職員が対応する場合があります。
【問い合わせ先】～お気軽にお電話ください～
〒890-0021
鹿児島市小野1丁目1-1
ハートピアかごしま3階
鹿児島県身体障害者福祉協会 総務課
電話 099-228-6271

令和6年度行事予定

- ・県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会
5月28日（火） 鹿児島市
・県身体障害者ゲートボール大会
11月予定 鹿児島市
・第18回県障害者スポーツ大会
5月19日（日）26日（日）
・第17回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会
秋予定 熊本県
・第23回全国障害者スポーツ大会
10月26日（土）～28日（月）
佐賀県
・県障害者保健福祉大会
11月14日（木） 県民交流センター
・「あつたか交流フェスタ」
12月1日（日）ハートピアかごしま

表彰表

第53回九州身体障害者福祉大会
第31回九州ブロック身体障害者相談員研修会
1月27日（月）28日（火） 宮崎県
令和5年度 厚生労働大臣表彰受賞（更生援護功労者）
林山 重孝 氏
元鹿児島県身体障害者協会連合会会長
元指宿市身体障害者福祉協会会長
永年にわたり身体障害者の更生援護に尽力された功績により、栄えある受賞をされました。心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。